

京都国際マンガミュージアム・国際日本文化研究センター 企画展

メキシコの知られざる

大衆漫画「イストリエタ」展

— 民俗文化としての漫画表現 —

UNKNOWN MEXICAN COMICS "HISTORIETA" - EXPRESSION AS FOLK CULTURE -

UNKNOWN MEXICAN COMICS "HISTORIETA" - EXPRESSION AS FOLK CULTURE -



Gabriel Vargas
「Borola Tacuche」
原画 (年不明)



Germán Butze
「Los Supersabios」
第544号表紙 (1966)



「Multicolor」(1913)より
「Canciones Populares」



Ignacio Palencia 「Ingratitud」
原画 (1952)

2019. 12.7 [sat] — 2020. 2.25 [tue]

Opening hours | 10:00-18:00
(最終入館 17:30)

Venue | 京都国際マンガミュージアム2F
ギャラリー4 (京都市中京区烏丸通御池上ル)

※原画作品と一部作品入替えあり〔前期〕12月7日-1月21日 〔後期〕1月23日-2月25日

休館日: 毎週水曜、12月25日(水)~1月4日(土)、1月14日(火)~18(土)、2月6日(木)

料 金: 無料 (ただし、ミュージアム入場料 [大人800円、中高生300円、小学生100円] は別途必要)

主 催: 京都国際マンガミュージアム / 京都精華大学国際マンガ研究センター / 国際日本文化研究センター



Plus 「Los Supermachos」
第180号表紙 (1967)

京都国際マンガミュージアム
KYOTO INTERNATIONAL MANGA MUSEUM

IMM

日文研

メキシコの知られざる大衆漫画「イストリエタ」展

— 民俗文化としての漫画表現 — 2019.12.7 [sat] – 2020.2.25 [tue] at 京都国際マンガミュージアム2F ギャラリー4

「Fantomas」第202号表紙 (1975)

19世紀から20世紀にかけて、メキシコで風刺画や娯楽読み物、広告や教育などにまたがった民衆の漫画文化へと広がっていった「イストリエタ」。その歴史的なあゆみと多彩なジャンル、そして現在の姿を、作品の原画やそれぞれの時代の雑誌・新聞とともに紹介します。メキシコ社会のなかで、市井の人々の生活と強く結びついて広がっていった民俗文化としての漫画のかたちをご覧ください。



本展は国際日本文化研究センターの機関拠点型基幹研究プロジェクト「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」の成果として開催されます。

シンポジウム

日時：12月7日(土)・8日(日) 午後1時30分～4時30分(8日は～3時30分)

会場：京都国際マンガミュージアム1F 多目的映像ホール

料金：無料 ※ただし、ミュージアム入館料は別途必要

定員：各120名(先着順)

参加方法：事前申込不要 当日午前10時より整理券を配布。

※スペイン語・日本語の逐次通訳あり

※詳細情報はWEBサイトに



Bernardo Fernández 'Uncle Bill' (2014), Editorial Sexto Piso

！ 作品原画、新聞・雑誌資料など約100点！

01 イストリエタの歴史

19世紀のルーツから20世紀初頭の確立、そして第二次世界大戦期の黄金時代を経て戦後の出版産業の動きまで、「イストリエタ」がたどってきた歴史を原画や各時代の資料とともにふりかえります。

02 イストリエタの多彩な世界

「イストリエタ」が描き出してきた多彩な世界を、ユーモア・ロマンス・ヒロイン・子供たち・ヒーロー・チャロ(メキシコのカウボーイ)・教育の7つのテーマに分けて紹介します。

03 ネオ・モネロスと現代のイストリエタ

今日のメキシコで活躍する、「イストリエタ」作家=「モネロス」の新生代たち。彼らの作品をもとに、現代のイストリエタの姿を紹介します。



1. Salvador Pruneda (サルバドル・プルネダ), 「Don Catarino (ドン・カタリノ)」, 1952年 / 2. Carlos Neve (カルロス・ネベ) 作画, Hipólito Zendejas (イポリト・センデハス) 原作, 「Segundo Primero Rey de Moscobia (セグンドー一世 モスカビアの王)」, 新聞『El Universal (全世界)』掲載, 1934年 / 3. Fausto B. Vázquez (ファウスト・B・バスケス) 作画, Guillermo Z. Vigil (ギジェルモ・Z・ビヒル) 原作『El Payo: Un Hombre Contra el Mundo (エル・パヨ 世界と戦う男)』, 1979年 / 4. Gaby (ガビ) 作, Arturo Lucero (アルトゥロ・ルセロ) 原作, 「Sensacional de luchas (素晴らしいしるしチャ)」, 1988年 / 5. Antonio Gutiérrez (アントニオ・グティエレス) 作画, Yolanda Vargas Dulché (ヨランダ・バルガス・ダルチ) 原作, 「Clasicos de Lágrimas, risas y amor: María Isabel (マリア・イサベル)」, 1985年 / 6. José Quintero (ホセ・キンテロ) 作, 「Buba (ブバ)」, Grupo Editorial Vid, 2012年

「イストリエタ」とは

中南米のスペイン語圏で用いられる、現地の漫画を意味する言葉です。スペイン語の「イストリア」が「歴史」や「物語」を意味するのに対し、「イストリエタ」という言葉には「歴史になりきれないもの」、あるいは「小さな物語」といったニュアンスがあります。なかでもメキシコではイストリエタが盛んに描かれ、人々の人気を集めました。

国際日本文化研究センター(日文研)

国際日本文化研究センターは、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、世界の日本研究者を支援するという大切な使命をもった、国の交付金によって運営されている大学共同利用機関です。近年大衆文化研究に力を入れており、「新しい日本のイメージ」を探りだそうと試み、成果を挙げています。イストリエタ研究は民衆史の側面からなされており、そのイストリエタを紹介する本展は、民俗文化として漫画を研究するという視点を再確認させてくれる重要な資料を紹介する展示となります。

M 京都国際マンガミュージアム
KYOTO INTERNATIONAL MANGA MUSEUM

604-0846 京都市中京区烏丸通御池上ル(元龍池小学校)

TEL: 075-254-7414 (代) FAX: 075-254-7424

https://www.kyotomm.jp Twitter @kyotomm



- 京都市営地下鉄/烏丸線・東西線「烏丸御池」駅北改札口2番出口すぐ 烏丸御池交差点の北西角(ハローワーク前)から烏丸通を北へ50m
- 京都市営バス/15、51、65系統「烏丸御池」停留所下車すぐ

※駐車場はございませんので、徒歩または公共交通機関をご利用ください。